



発達障害コミュニケーション上級指導者

原口 佐知子 様

Q1 発達障害コミュニケーション初級指導者講習会に参加したきっかけは何ですか

就労移行事業所で、10代〜30代の発達障害の方を対象にビジネススマナー・会話練習・就職面接指導をしていた際、「もっと発達障害の知識があつたら、彼らの良さを引き出せるのに」と感じたことがきっかけです。

Q2 初級・中級と学ばれて、

更にも上級指導者資格を取得しようとした理由やモチベーションは何でしたか

初級から学んだことを日々の現場に落とし込んだ結果、その効果が感じられたことから学び続けました。

モチベーションは何でしたか

「就職する！」の一心で必死に通っている子が沢山居たので。一緒に過ごす時間が一番のモチベーションです。

Q3 上級講座の内容でいちばん

印象に残っているものは何ですか

「代表システムと優先システム」が印象的でした。優位性の違いが、行動や言動に大きく違いがあることを知りました。また、「教育的観点からのアセスメント」は、つま

Q4 資格を仕事にどう生かしていますか

就労支援の際、優先システムを考えながら自己理解に繋げ、ナビゲーションブックへの落とし込み、職場との連携に活かしています。就労時の不安感に対しても

障害特性に合わせ、定期的に職場支援を行っています。

Q5 資格を取得したことで、

仕事をすることで何か(どんな)変化がありましたか

精神科の通院同行の際、資格取得後は、先生から細かな指示やアドバイスを貰うようになりました。アドバイスを就労先の担当と共有し、障害者が働くことへの不安感の軽減に繋がりました。また、保護者や企業、行政機関への研修や相談が増えました。

初級受講時の職種：就労移行支援事業所 研修担当・ビジネススマナー講師・ファシリテーター

現在の職種：フリーで障害者支援・ビジネススマナー講師・ファシリテーター

学び続けるにあたって、どのように

資金・受講計画を立てていましたか
早くに年間の講義スケジュールが出るので、予定を優先しました。資金は、自己の講師料から。

工夫したこと等ありましたら

講義の振り返りが常に出来るように、障害者研修の際は毎回、「どの手法を入れようか？」と考えることで学びを維持しました。

有効期限内(5年間)に学ばれた

再受講講座や他の講座で、

どのような気づきがありましたか

資格取得後に始めたコミュニケーション講座は、ラポールのかけ方や細かな相談技法があり、発達障害の知識を現場で活かせる学びが多くあります。保護者や企業からの相談も多く、コミュニケーションスキルが本当に役立ちます。

Q8 資格を今後

どんな人に取得してほしいですか

実務経験が必要ですが、発達障害に関わる多くの方が取得することで、親子や教育現場においての様々な不安の軽減に繋がること、また、企業が資格者を育成することは、無理のない障害者雇用が出来ると思います。

Q9 発達障害について、

これから学びたいことは何ですか

マニュアルに無い、複雑なケース(障害だけではなく福祉の課題や養育の課題など)への対応を沢山学びたいと思います。また、年齢やケースに応じた「声の掛け方」についての事例研修を受けてみたい

Q10 上級指導者講座を今後学んでみたい方へ

ひとことお願いします

講座を通じて、発達障害の方やご家族へ接することに自信ができました。乳幼児期から就労支援まで幅広く学ぶことで、月齢に合わせたアプローチの方法を習得出来、また一緒に学ぶ仲間との交流も良い学びの時間になります。